

第3期美幌町まち・ひと・しごと 創生総合戦略【概要版】

美 幌 町

美幌町人口ビジョン【概要版】

策定のポイント

● 人口ビジョンの見直し

最新の国勢調査の結果や各種施策の取り組みを見込んだ独自の人口推計を行い、人口目標値の再設定を行いました。

美幌町の人口動向

1 人口推計

● これまでの推移

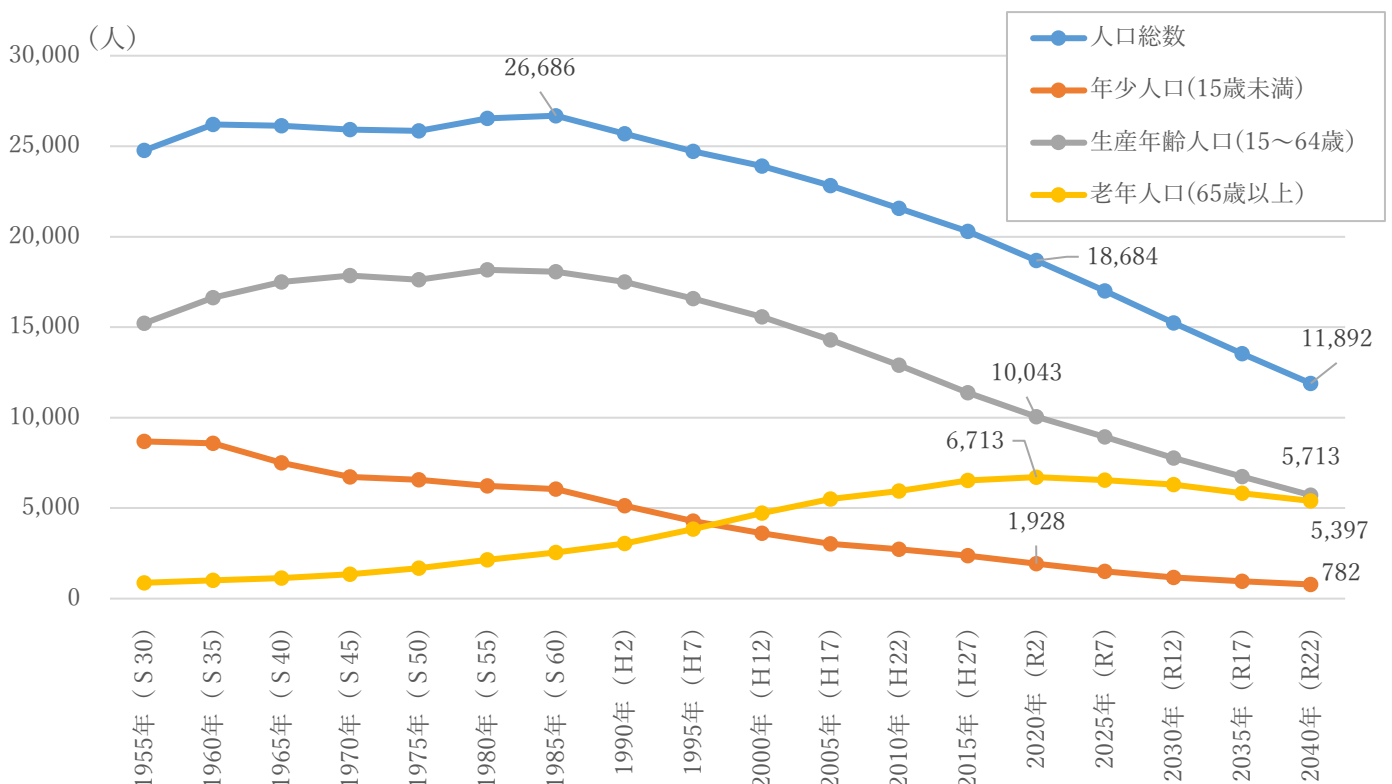
国勢調査によると、1923年に「美幌町」が誕生した後、人口は増加を続け、1950年には20,000人をこえました。1985年の調査では、最多となる26,686人となりましたが、その後は減少傾向に転じ、現在までその傾向が続いています。

年齢3区分人口については、65歳以上の人口が増加を続けており、2000年には年少人口（15歳未満）と老年人口（65歳以上）が逆転しました。

● これからの推計

2015年から2020年の直近の変化率を用いた「コーホート変化率法」で、今後の人口を推計すると、2040年には11,892人になると推計されています。

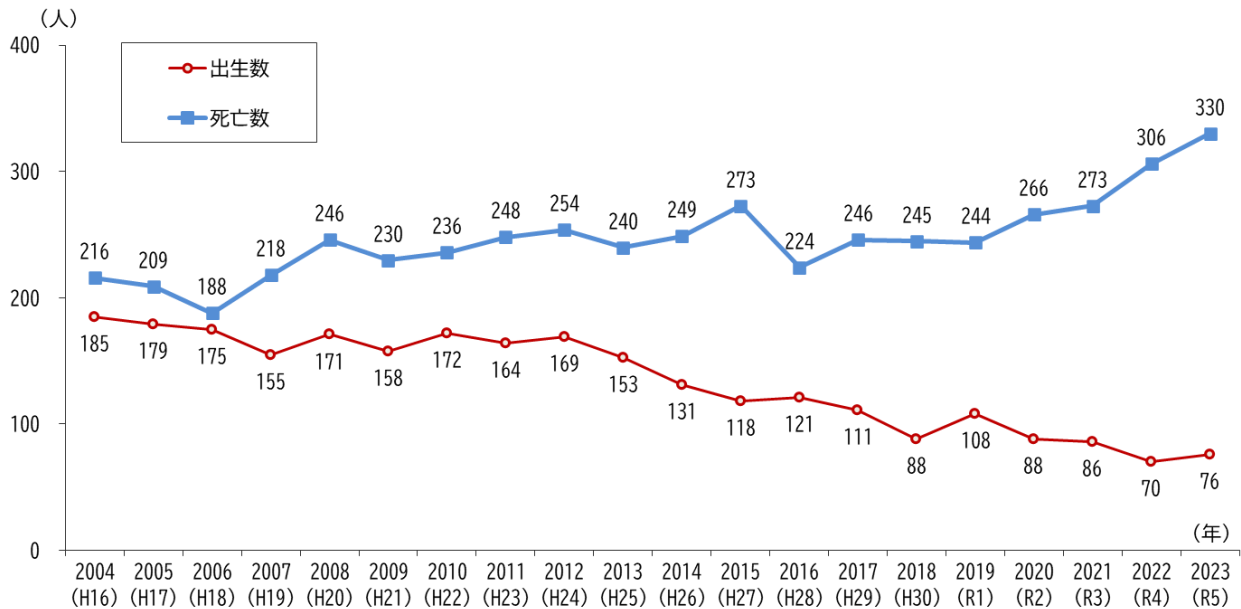
年齢3区分人口については、今後は老年人口も減少傾向に転じ、2040年には、生産年齢人口と老年人口がほぼ同数となり、その後もほぼ同じように減少していくことが推計されています。



2 自然増減

● 出生数と死亡数の推移

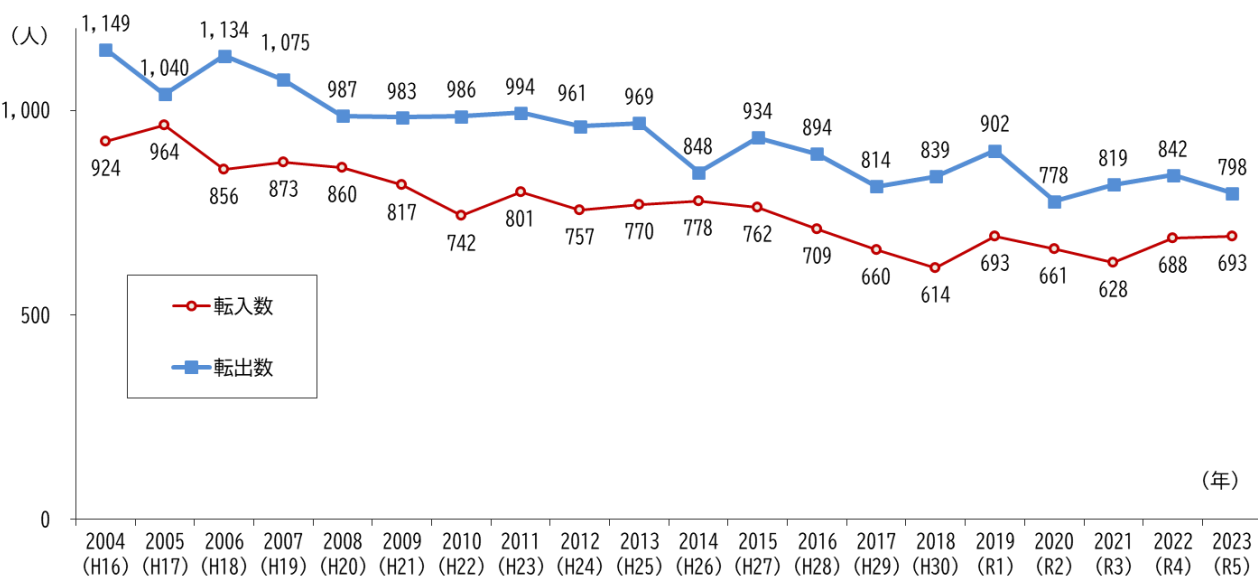
過去 20 年の自然増減の推移をみると、2004 年以降、死亡数が出生数を上回っている状態（＝自然減）が続いており、その差は徐々に拡大する傾向にあります。



3 社会増減

● 転入数と転出数の推移

過去 20 年の社会増減の推移を見ると、転出数が転入数を上回る状態（＝社会減）が続いています。



1 長期的展望

● 合計特殊出生率の考え方

現在の「1.34」から、2035年には「1.80」、2040年（令和22）には「2.10」まで上昇させることを目指します。

● 人口移動の考え方

20代～30代の転入出者数が多いことと、19歳以下の未成年とその親世代である40代の転出超過が著しいことから、産業活性化やUターン対策、移住・定住促進、子育て対策を実施することにより、2025年から転入出状況の改善効果が出ると仮定します。

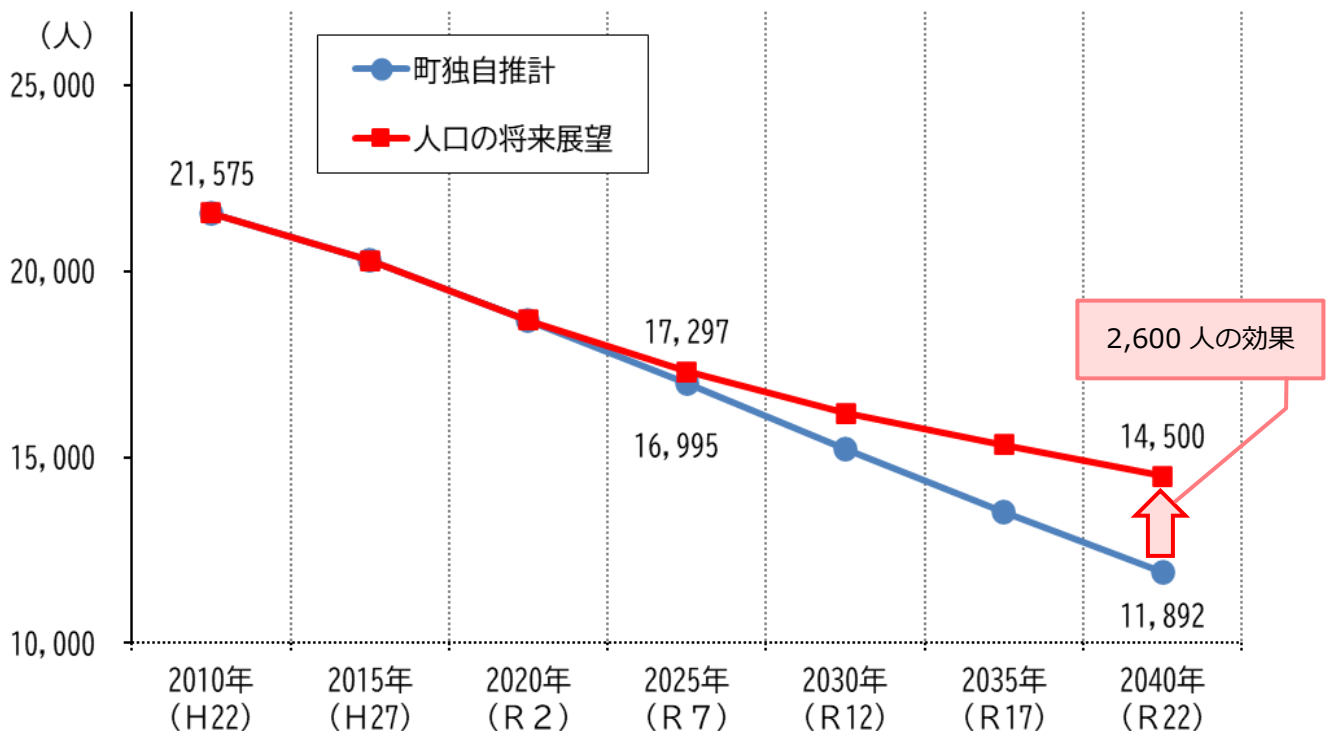
これにより、親世代の移動の影響を受ける5歳から、経済の生産年齢世代である64歳までの移動状況を改善させ、全体として2割の人口減少緩和効果を生み出し、年齢構成の改善と人口減少の抑制を目指します。

2 人口の長期的な見通し

● 長期的な見通し

近年の人口動態が今後も続くと仮定した町独自推計では、2040年の本町の総人口は、「11,892人」まで減少すると見通されています。

本町の施策による効果が着実に反映され、合計特殊出生率と人口移動が仮定値のとおり改善し、さらに官公庁若しくは企業の誘致が実現した場合、2040年の人口は「14,500人」となり、近年の人口動態が続いた推計値に比べ、約2,600人の施策効果が見込まれます。



策定のポイント

数値目標・重要業績評価指標の設定にあたっては、相関性をより意識した見直しを行いました。

さらに、施策及び具体的事業掲載にあたっては、ライフステージや分野ごとなど、戦略を見る側の視点からもよりわかり易い総合戦略となるよう体系や表現の見直しを行い、住民等の多様な主体で構成される美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会でより実効的で深い議論を行い、官民連携した戦略推進を目指します。

● U I J ターンの強力推進

I C T 社会の推進によりテレワークが普及し場所を選ばない働き方が可能となっています。第3期総合戦略では、U I J ターンによる「呼び戻し」に注力し、生産年齢人口の拡大や、出生率の増加を期待していくため、U I J ターンの具体的な施策を展開いたします。

● 青年団体・女性団体・子育て世帯・高校生へのアンケート調査・意見交換の実施

町内で活躍する青年団体や女性団体、幼稚園の父母会、美幌高校へ通う学生に対するアンケート調査や一部の幼稚園父母会とは意見交換会を開催し、若年層や子育て世代にアプローチするための要素を収集し、具体的な施策を展開いたします。

● デジタルの力を活用した社会課題解決・魅力向上

誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指し、これまでの様々な地域課題解決・魅力向上に向けた取り組みをデジタルの力を活用して継承・発展させていくことや、地域が目指す理想像に向かい、デジタル技術を活用しつつ、地域活性化の取り組みを推進するため、具体的な施策を展開いたします。

● 女性の定着を図る施策立案

民間有志の会議である人口戦略会議が、社人研の推計に基づき、各自治体の2050年の20～39歳の女性減少率を発表しました。本町はオホーツク管内で女性減少率が一番高かったことから、女性減少率を抑える具体的な施策を展開いたします。

1 地域の基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場をつくる

1 数値目標

- 新規求人数
1,100 人 （R5 実績：1,244 人）
- 200 万円を超える給与収入者数
5,700 人 （R5 実績：5,796 人）

2 具体的な施策

産業における経営の強化・人材の確保

- 経営の強化
農業推進事務、農業振興施設等整備事業、商工業振興事業 等
- 人材の確保
新規就農者等支援事業、森林の担い手支援等事業、労働振興推進事業 等

地域特産品の振興

- 地域特産品の振興
地域特産品開発推進事業、政策推進事務

地域資源を活かした観光の推進

- 観光振興
観光推進事業
- 滞在型観光の推進
観光推進事業、農村ツーリズム推進事業、みどりの村再整備事業 等

起業支援・企業誘致

- 起業支援
起業家支援事業、空き店舗活用促進事業
- 企業誘致
企業・サテライトオフィス企業の誘致、統計調査事業、広報推進事業 等

外国人労働者を受け入れる体制づくり

- 体制構築
多文化共生推進事業、外国人労働者受入支援事業、福祉担い手育成推進事業

2 「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す

1 数値目標

- 転出入者の差

▲100 人 （R5 実績：▲105 人）

2 具体的な施策

若者人口の増加

- 大学との連携

教育振興事務、産学官連携推進事業、スポーツ団体育成助成事業

- 若者支援

商工業推進事務、労働振興推進事業、移住定住促進事業

移住・定住促進による転入数増加(Iターン・Jターン)

- 美幌町の PR

移住定住促進事業、みらい農業センター推進事業

- 体験移住の促進

移住定住促進事業

- 移住の促進

医療従事者就業支援等補助事業、公共交通維持確保改善事業 等

- 関係人口の創出・拡大

移住定住促進事業

Uターン数の増加

- Uターンの促進

奨学金返還支援事業、移住定住促進事業、森林の担い手支援等事業等

SNS 等を活用した魅力発信

- 町の魅力発信

広報推進事業、移住定住促進事業

- 美幌高校の魅力発信

教育振興事務

3 このまちで出会い結婚し、子どもを生み育てたいという希望をかなえる

1 数値目標

- 合計特殊出生率
1.70 （R5実績：1.26）

2 具体的な施策

結婚、出産、子育て支援（高校生まで）

- **出会い～結婚支援**
みらい農業センター農業振興事業、結婚新生活支援事業 等
- **出産支援**
プレママサポート等事業、妊婦・乳幼児等健診相談事業 等
- **子育て支援**
子ども医療費助成事業、次世代育成支援推進事業、小中学校給食費支援事業 等

働きやすい職場環境の整備

- **意識啓発**
商工業振興事業

子どもがのびのびと遊び過ごせる環境の整備

- **環境整備**
公園整備事業、小中一貫教育推進事業

教育環境の充実

- **学力向上に向けた取組**
少人数学級推進事業、小中学校 ICT 教育環境整備事業 等
- **総合教育の充実**
未来のアスリート応援事業、部活動地域移行推進事業 等
- **美幌高校の充実**
教育振興事務、国際交流事業

● 人口

16,197 人 （R5 実績：17,526 人）

町民が活躍できる環境の整備・健康に暮らし続けられる地域づくり

● 町民が活躍できる環境の整備

びほろの活力共創事業、広聴事業 等

● シビックプライドの醸成

「びほろ学」推進事業

● 健康に暮らし続けられる地域づくり

健康教育相談事業、一般介護予防事業 等

女性が活躍する社会づくり

● 女性が活躍する社会づくり

商工業振興事業、起業家支援事業

デジタルを活用した便利なまちづくり

● デジタルの活用

情報学習等推進事業、DX 推進事業

住環境の整備

● 住環境の整備

住宅リフォーム促進補助事業、空き家対策事業

● 地域住民と連携した防災体制の充実

防災対策事業、防災物資等整備事業 等